

Statistical Room



百貨店、スーパー、コンビニエンスストア等の商品販売額

衣食住を豊かにするのに、飲食料品や日用品など日々の買い物は欠かせないですね。今回、京都府内の平成28年の百貨店、スーパー、コンビニエンスストア等の商品販売額を見ました。

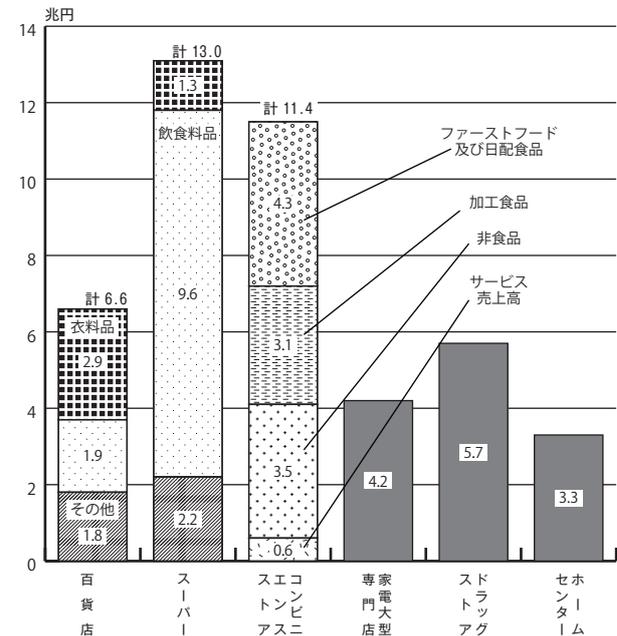
まず、全国の年間販売額をみると、百貨店 6.6兆円、スーパー 13.0兆円、コンビニエンスストア 11.4兆円（サービス売上高を含む、以下同じ）などとなっています。（図1）

次に、京都府内の年間販売額をみると、百貨店 2323億円、スーパー 2578億円、コンビニエンスストア 2085億円などとなっています。また、百貨店、スーパーの内訳をみると、百貨店は、衣料品（1151億円）が飲食料品（600億円）より多く、スーパーは、飲食料品（1727億円）が衣料品（293億円）より多くなっています。全国では、コンビニエンスストアが百貨店より多くなっていますが、京都府内は、百貨店がコンビニエンスストアより多くなっています。（図2）

次に、京都府内のそれぞれの業態ごとに平成28年の月別販売額をみると、コンビニエンス

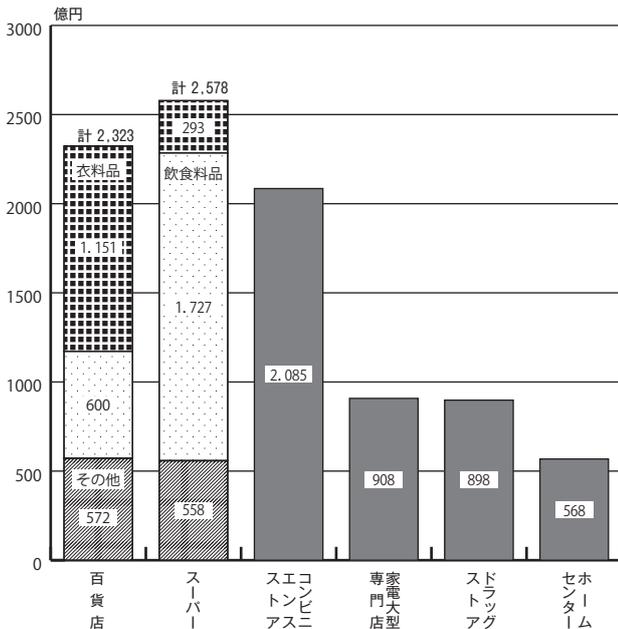
ストアは7月が最も多く、他の業態は、いずれも12月が最も多い月となっています。10月から年末にかけて販売額は増加傾向にあることがわかります。（図3）

図1 平成28年 業態別商品販売額（全国）



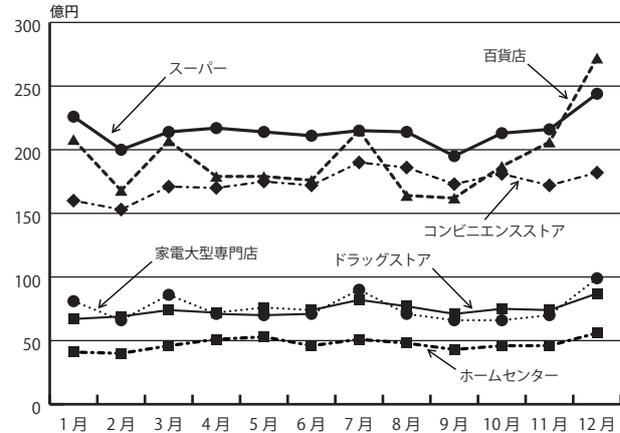
資料：商業動態統計（経済産業省）

図2 平成28年 業態別商品販売額（京都府）



資料：商業動態統計（経済産業省）

図3 平成28年 業態別月別商品販売額（京都府）



資料：商業動態統計（経済産業省）